



大磯中学校の部活風景

議会だより

第152号

2009年（平成21年）10月27日発行

大磯

9月定例会

- 決まったこと …………… 2~4
決算は継続審査に
補正予算を修正可決 **再議** など
- 政務調査費の収支報告 …………… 7
- 町政のここが聞きたい **一般質問** …… 8~11

9月定例会

議会選出の監査委員は空白のまま 平成20年度決算は継続審査に

決算の審査は、通常どおり行われず、最終日に決算特別委員会に付託された。監査委員は定数2名だが、7月臨時会で議会が推選した渡辺議員は町長の不信任決議の提出者であり、町側が提出できないとしていた。そのため、監査意見書が監査委員1名から提出された。

9月9日上程の直前に三澤議員より、監査委員1名の意見書では上程を認めることはできないとし、決算の審査を止める動議があった。採決の結果、賛成者多数で可決し散会したため、決算の審査は宙に浮く形になった。

最終日、再度決算の上程があり、決算特別委員会が

議会構成再編後の初めての定例会は、全国でもあまり例がないと思われる事態が多数起きた。議会選出の監査委員の不在、散会の動議による変更で決算が10月以降の審査となったことや補正予算の修正可決に対し町長が再議に付したこと（3頁参照）などである。

設置され、閉会中に審査することが決まった。

同日開催された特別委員会では、1名の監査意見書であっても上程を受けざるを得なかったが、町長に議会選出の監査を提案するよう正副委員長で促して欲しいとの多数意見があり、日程は後日決めることになった。

決算特別委員会

委員長	鈴木京子
副委員長	浅輪いつ子
委員	山口陽一
	三澤龍夫
	百瀬恵美子
	奥津勝子
	坂田よう子
	土橋秀雄

補正予算

今回の追加補正総額は、一般会計約2億9千530万円、他の5特別会計の合計が約2億4千470万円となり、予算総額は約17億1千970万円となる。

一般会計補正予算の修正可決をめぐる審議は3頁に記載。

主な質疑

問 コミュニティ（自治会）推進事業130万円の内

容は。財源も合わせて説明を。

答 自治総合センター（宝くじ売上の一部で運営）から200万円入るので、そ

の一部で TENT を購入し、区長連絡協議会に渡す。

問 母子保健事業54万6千円の事業を進めるための工夫は。

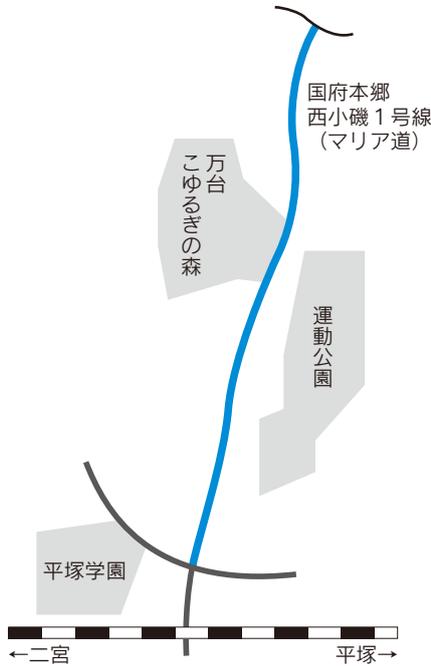
答 昨年度は一割が一度も妊婦検診を受けていない。電話や家庭訪問を行うと同時に、母子手帳交付の時に必要性がわかるようなものを渡していく。

問 保存文書目録データ作成委託料1千350万円の内容は。

答 昭和57年以降の32万件的公文書の目録をデータベース化する。財源は県である。

(通称) マリア道 国府本郷西小磯1号線 整備事業費を修正

町提案の土地購入費1,900万円は 修正案により60万円となる



審議の流れ

- 9月1日
①補正予算の提案
②修正案の提案
修正を除く原案 **可決**
- 9月28日
③再議(修正案)
①の案に戻る **否決**
- ④再修正案の提案
修正を除く原案 **可決**

①補正予算の提案

議会初日、国府本郷西小磯1号線整備のための土地購入費1,900万円を含んだ補正予算が提出された。

主な質疑

問 内容は、まちづくり交付金の基幹事業。国の交付金全額を土地購入にあてる。

答 交付金の関係で、平成23年度中の完成が求められる。総事業費は4.1億円。新設部分の用地取得ができたところから工事に着手していきたい。
計画交通量は1日車約500台以上。

②修正案の提案

山口議員他1名から土地購入費を削除する修正案が提出された。

理由は、住民に十分な説明もなく、国際学園の費用負担も不透明のまま。将来が見えない中での予算は認められないというもの。

反対討論

総合計画の中で重要な位置付けがされており、今まで調査や実施設計をしてきた。肅々と進めるべきだ。

賛成討論

県道藤沢大磯線とルートが重なっているが、この2年間、説明がない。住民投票をすれば否決される必要不急の住民同意のない事業だ。

土地購入費削除の修正案が可決された。

③再議

議会最終日、再議書を審議した。修正案の再議を求める理由として
○削除した事業は、町中央部を南北につなぐ重要路

線で、安全性・利便性の確保や周辺住民の生活環境向上のため早期着手が望まれている。

○平成17年度から事業に着手しルート検討、測量調査、測量設計を実施してきた。

○否定されると将来にわたり町民の利益を損ねるものと憂慮される。

主な質疑

問 基幹事業がなくなると交付金への影響はないか。

答 町の西部整備計画は15本の道路整備や月京幼稚園新築等が含まれており進める必要がある。

問 住民には説明したのか。
答 地権者には行った。地域へはこれから行う。

修正案に対する反対討論

重要な事業が含まれるまちづくり交付金対象中、額の大きい基幹事業を削除すると影響は重大と考える。

修正案に対する賛成討論

交付金4割と言っても6割は町の税金である。維持管理や他の町道付替えも必要。町民生活に密着した事

業に税金を使うべき。

9月1日の議決のとおりに土地購入費の削除を決定する再議は否決され、改めて町提出の原案の審議することになった。

④再修正案の提案

山口議員他1名より現在ある車の待避所3カ所の土地購入費60万円を認める内容の修正案が提出された。
理由は、待避所は必要であり認めたいというもの。

賛成討論

町民の福祉増進につながる重要な事業であるので、土地購入費の削減に賛成する。
再修正案は可決し、修正を除く原案も可決した。

※再議とは、議会の議決に異議があるとし、町長が議会に審議のやり直しを求めたことをいう。

9月1日議会で可決された修正案を確定するために、議長を含む出席議員数の3分の2以上の10名の同意が必要となる。



(仮称)子育て支援総合センター 新築工事

(仮称) 子育て支援総合センター新築工事の請負契約を約8千276万円で(株)関野建設と締結する議案が提出された。

内容は、鉄骨造の平屋建てで、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、地域交流スペースなどがある。場所は国府新宿131番、旧国府幼稚園跡地。

主な質疑

- 問** 工期は。
- 答** 来年3月には完成させ、4月から使用できるようにしたい。
- 問** 入札の最低制限価格はどのように決定したか。
- 答** 県の算出方法を参考にした。
- 問** 太陽光発電の設備費用と効果は。
- 答** 約300万円で、施設で使用する電灯の7割をまかないたい。
- 問** 親と子が食事できるスペースをきちんと確保すべきでは。
- 答** 相談室などを臨機応変に使用していただく。使用方法も含めて検討していく。
- 問** 休日はあるのか。
- 答** 土日を考えているが、これから検討していきたい。
- 問** シックハウスの対する配慮は。
- 答** 基準に従い施工する。環境調査も行う。

反対討論

子育てに休日はないので、土日休館の前提はおかしい。利用状況などを見て考えるべきだ。

国保加入者の出産一時金 4万円増額

平成21年10月より23年3月まで

- 国の少子化対策の一環として、国民健康保険加入者の出産一時金、現行38万円を4万円引上げる条例改正の議案が提出された。
- 問** 2年間の暫定措置のあとも町独自で増額を維持する考えはないか。
- 答** 検討する。
- 問** 金額を50万円とし、少子化対策を考えては。
- 答** 予算全体のバランスで考えたい。
- 問** 国の補助は。
- 答** 半額の2万円。
- 問** どのように町民に知らせるのか。
- 答** 広報や母子手帳配布の時に直接伝えたい。

主な質疑

- 問** 該当者数は。
- 答** 年間200人程度を見込んでいる。
- 問** 出産に伴う入院費などはいくらぐらいか。
- 答** 全国平均は42万円、神奈川県平均は47万円。

消防団の消防自動車を購入

- 第11分団小型動力ポンプ付積載車は、配備され14年を経過し、経年劣化が著しく、使用満期になるため更新する。
- 購入契約は、(株)畠山ポンプ製作所と締結し、金額は824万2千500円。
- キャブオーバーダブル、キャブ型125tシャーシに小型動力ポンプ及び消火資機材を積載した車両。
- 問** オートマチック車は使いこなせるか。また、町の道路幅や坂道は大丈夫か。
- 答** 技術的に問題ない。狭いところはポンプ車を降ろし消火にあたる。

主な質疑

賛否結果

議案番号	議案	議員名（議席順）													結果		
		山田喜一	山口陽一	清水弘子	三澤龍夫	鈴木京子	百瀬恵美子	奥津勝子	高橋英俊	浅輪いつ子	竹内恵美子	坂田よう子	柴崎茂	土橋秀雄		渡辺順子	
39	大磯町国民健康保険条例の一部を改正する条例	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	工事請負契約の締結について （（仮称）子育て支援総合センター）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
9月1日	修正案	議案第41号一般会計補正予算（第3号）に対する修正案	-	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	可決
	41	一般会計補正予算（第3号） 修正を除く原案	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9月28日	再議	議案第41号一般会計補正予算（第3号）の再議について（9月1日修正案）	●	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	否決
	修正案	議案第41号一般会計補正予算（第3号）に対する修正案	-	○	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	○	○	可決
	41	一般会計補正予算（第3号） 修正を除く原案	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	老人保健特別会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	下水道事業特別会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47～52	平成20年度決算	継続審査															
53	財産の取得について （消防団の消防自動車）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	固定資産評価審査委員会委員の選任について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	同意
55	大磯町議会会議規則の一部を改正する規則	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
決議案第6号	東海大学医学部付属大磯病院産科存続に関する決議	-	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○は賛成 ●は反対 -は議長のため議決に加わらない

町民に開かれた議会を目指して

議会会議規則を改正

7月臨時会で制定した「議会基本条例」の施行（11月1日）に向けて、会議規則の改正を行いました。議会を地方自治法に定める「議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場」として位置づけ、本会議、委員会のほかに、原則として次の会議を公開します。

公開する会議

一般会議
町民と議員が町の重要事項について自由に意見や情報を交換します

議会報告会

議会活動の報告と町民の意見を聴取します

議員全員協議会

町政に関する重要な事件や議会の運営の協議等を行います

常任委員会協議会

常任委員会を補充し、協議等を行います

特別委員会協議会

特別委員会を補充し、協議等を行います

議会活動の公開性

透明性の向上を目指し、会議の公開を行います。そして、議会運営・町政への皆さまの要望や意見の把握に努めます。

身近な議会になり、暮らしやすい町につながることを私たちは期待しています。

会議開催は随時お知らせします。皆さまの参加をお待ちしております。具体的には議会事務局にお問い合わせください。

箕島氏を再任

固定資産評価審査委員会委員の箕島氏の任期満了につき同意が提案され、賛成多数で再任が可決された。

箕島敏明氏（74歳）

国府新宿在住

議員提案による決議

議会最終日、土橋議員他3名から決議案が提出され可決した

東海大学医学部附属大磯病院 産科存続に関する決議を可決



本議会は、東海大学医学部附属大磯病院産科閉鎖計画の撤回について大磯町に働きかけるとともに東海大学理事長 松前達郎氏並びに東海大学医学部附属大磯病院長 岡義範氏に対し、東海大学医学部附属大磯病院産科存続を申し入れることを決議する。

理由（要旨）

総合病院での出産は、本人はもとより家族にとっても安心でき、子育て支援のひとつであると思う。平成20年3月、町は一部町有地を東海大学へ譲渡し、医療機関の更なる充実を図るため協力をした。その際、地域に密着した医療体制の整備を協働で進めることなどを要請している。

あなたの要望はこうなりました

詳細はホームページで閲覧できます。

採択となった陳情

◆精神障害者の福祉施策についての陳情

陳情代表者は、新田慎一郎氏（湘南社会復帰協会）。内容は、精神障害者保健福祉手帳3級保持者の自立支援医療費を全額助成してくださいというもの。

意見で「大磯独自の近隣を気にしない方向でやってほしい」「繰越額が出ている中で、20万、30万が予算計上でできない町では困る。早急に進めてほしい」などがあった。

机上配布となった陳情

- ◆国と神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
- ◆名誉毀損議員である、山田喜一議員の辞職を求める陳情
- ◆日本共産党大磯支部と現在問題となっている、田中秀男商店のかつての関係を知っているであろう、鈴木京子議員を、100条委員会委員より、不適格に付き、委員より外すことを求める陳情
- ◆「保険で良い歯科医療の実現を求める意見書」を国に提出することを求める陳情書
- ◆所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することについての陳情書
- ◆土地境界確定についての陳情

平成20年度 政務調査費の収支報告

(単位：円)

議員氏名	交付額	支 出 額					収支差引額 (返還額)	主な支出内容	
		①調査旅費 及び研修費	②資料作成 及び購入費	③広報費	④事務費	⑤その他 の経費			支出計
浅輪いつ子	180,000	51,934	102,015		4,200		158,149	21,851	①旅費（柏崎市ほか） ほか②新聞・雑誌購読料 ほか④消耗品費
奥津 勝子	180,000	83,814	70,556	26,640			181,010	0	①旅費（柏崎市ほか） ほか②新聞・雑誌購読料 ほか③消耗品費
坂田よう子	180,000	63,020		119,863			182,883	0	①旅費（大津市ほか） ほか③広報紙発行費
柴崎 茂	180,000	119,971	12,929				132,900	47,100	①旅費（淡路市ほか） ほか②資料購入代
清水 弘子	180,000	80,220	101,919				182,139	0	①旅費（佐久市ほか） ほか②資料購入代ほか
鈴木 京子	180,000	69,614	62,715	54,000			186,329	0	①旅費（佐久市ほか） ②新聞・雑誌購読料ほか ③広報紙発行費
高橋 英俊	180,000	66,135					66,135	113,865	①旅費（淡路市ほか） ほか
竹内恵美子	180,000	98,540		88,304			186,844	0	①旅費（大津市ほか） ほか③広報紙発行費
土橋 秀雄	180,000	29,880	65,940	32,158	4,291		132,269	47,731	①旅費（柏崎市ほか） ②新聞・雑誌購読料ほか ③消耗品費④消耗品費
三澤 龍夫	180,000	29,880	37,200				67,080	112,920	①旅費（柏崎市ほか） ②新聞・雑誌購読料
百瀬恵美子	180,000	92,810	105,115				197,925	0	①旅費（佐久市ほか） ほか②新聞・雑誌購読料 ほか
山口 陽一	180,000	42,924	34,752				77,676	102,324	①旅費（佐久市ほか） ②資料購入代
山田 喜一	180,000	23,850	62,015	107,099	4,890		197,854	0	①旅費（柏崎市ほか） ②新聞・雑誌購読料ほか ③広報紙発行費④消耗品費
渡辺 順子	180,000	31,070	97,050	66,990			195,110	0	①旅費（上越市ほか） ほか②新聞・雑誌購読料 ほか③広報紙発行費

掲載は50音順です。詳細は役場1階情報コーナーにあります。

町政のここが聞きたい

一般質問

一般質問は、9月8・9日に11人の議員から35問ありました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。
詳細は会議録・ホームページ・DVD（図書館貸出）をご利用ください。

【文責は本人】

竹内
恵美子

小磯幼稚園の公設民営化は
いつからか

答 平成23年度私立幼稚園誘致

問

これまでの検討委員会の進捗状況は。

教育長

5月より、作業部会を3回。幼稚園統廃合の要望のまとめ。検討委員会を2回開催。作業部会で出された要望、保育料の補助について町と協議をし、方向性を出していきたい。

問

検討会の委員構成は。

教育長

保護者代表、子育ての専門知識を有するもの、区内の自治会代表者、子ども育成課職員の2人。

問

移行期間のシミュレーションはしているのか。

子ども育成課長

3年間のシミュレーションはしている。

問

今後のスケジュールは。

子ども育成課長

9月に保護者への説明。10月に来年度入園の新入園児の保護者へ説明。民営幼稚園のアンケート。12月に議会で条例改正。私立幼稚園の選考委員会の設置。仕様書作成。私立幼稚園公募決定の順になる。

問

今後決定する幼稚園について、保護者や教育委員会等の意見を十分に活かして協議を進めて欲しいが。

町長

誘致する私立幼稚園につきましては、保護者の意見、教育委員会の意見を尊重して決定していきたい。

その他の質問

高齢者の支援と予防対策、インフルエンザ、監査委員。

坂田
よう子

旧吉田邸の再建に対する
町の決意を問う

答 再建への全国展開を開始

問

町は再建基金への協力を全国に呼び掛けている。再建に対する町の決意を問う。

町長

8月末現在、151件、約2千354万円の寄付をいただいた。

県は、再建費用の確保が大きな課題、まずは町の募

金活動を押し進め、県もそれに協力すると伺った。

先頃、県庁において県知事及び吉田茂国際基金とともに合同記者会見を行い、全国に向けての募金協力を強く呼び掛けた。

今後は、日米協会の協力も合わせ、マスコミを巻き込んだ全国発信を図っていく。子ども

達に吉田元首相の偉業と吉田邸が歴史に果たした役割を語り継ぐため、本邸再建は重要であり、保存運動を進めてきた者の責務と考えている。



焼失前の旧吉田邸

清水 弘子

万台こゆるぎの森公開の
約束はなぜ守られないか

答 試掘調査などで遅れている

問

万台こゆるぎの森公開の約束はなぜ守られないか。事業者への指導は。

町長

埋蔵文化財の試掘調査などで一般開放が遅れている。

賃料、保証金は。

財政課長

賃料は年間2千万円、保証金は当初2億円と考えたが、結果的に2千万円になった。

問

緑の調査は貸す前にすべきだが、どうしたか。

都市計画課長

国際学園からまだ、最終

成果はいた
だいていな
い。

問

万台までの道路計画の目的は。

町長

車のすれ
違いが困難
安全確保と
生活環境の
向上。



閉鎖中の万台こゆるぎの森

土橋 秀雄

町計画の(通称)マリア道、
藤沢大磯線との重複は

答 600メートル重複する

問

平成21年8月6日、藤沢大磯線新設改良促進に係わる要望活動が実施されたが、今後の方向性を示せ。

町長

県市町村会、3市3町広域行政推進協議会等を通じ、長年にわたり、要望活動を行ってきた。路線の接続先、

平塚市との調整を図り、具

体化に向け、取り組む。

問

藤沢大磯線のルートは国府本郷・西小磯1号線(通称・マリア道)とほとんど重なっているが。

建設課長

藤沢大磯線のルートは国府本郷・西小磯1号線(通

称・マリア道)は、万台まで850メートル。
藤沢大磯線のルート検討の中で示されている図面では600メートル重複する。



(通称) マリア道

浅輪 いつ子

東小磯の下水道工事が契約
通り完成しなかった責任は

答 今後二度とないようにする

問

全長390メートルの内52メートルが未完成。工期も半年以上延びたが工事費は契約通り16億円強。未完成部分の支出は別途3千万円位。どうなっているのか。

建設課長

地下水位が地質調査時よ

り下がったため52メートルができなくなった。

問

工事に当たり十分な準備が無かったため再支出となった。また工事区間が短くなったことを議会へ報告しない町の体質や副町長が決裁時に内容をきちんと理解していな

ったことなど、今後どのように対応するのか。
副町長
本当に申し訳ない。今後二度とないようにする。



東小磯・御嶽神社近く

奥津 勝子

時に叶う、

町の地域防災計画は

答 意識向上と体制確立を図る

問

ハザードマップの作成は。

町長

今年度に洪水津波ハザードマップを作成し全戸配布

後、土砂災害マップを整備

する。

要援護者への対応は。

総務課長

先月末で710人登録、不同意者へは先進地例を参考に。

問

自主防災組織との連携は。

また、防災出前講座は。

総務課長

未設置区には、費用補助も含め説明を、出前講座は積極的に地域に向向く。

問

町の防災

訓練の内容

と防災無線

放送の方法

は。

町長

意識向上

と体制確立

を、無線は

難聴地区解

消と利便性。



運動公園の防災訓練

山口 陽一

大地震が発生した時の

町民への緊急連絡体制は

答 一斉にサイレンを鳴らす

問

大地震の緊急連絡にはサイレンを鳴らして知らせる

というが、火事などの違いなど町民には周知されているのか。

総務課長

サイレンはこういうサイレンが鳴りますと町民に周知したいと考えている。

問

緊急避難場所が地域の実態に合っていない、耐震補

強されていない避難所がある、避難場所での毛布の備

蓄がわずかしかない、自主

防災会などへの補助が少な

いなど、安全対策が二宮町

と比べて大きく遅れている

が、こんなことでは困る。

町内会や自主防災会とよく相談してほしい。

総務課長

防災体制については早急に見直したい。

東海大学大磯病院は

問

東海大学大磯病院は地域の救急医療などに積極的に

協力してもらっているか

がえのない中核病院だが、

子育てに関係する診療科目

の一部が閉鎖されるような

話があるが、住民にとつて

は深刻な問題である。

各自自治体では病院を確保

するために多額の補助をし

ている。平塚・小田原でも

病院経営に多額の経費を支

出しているが、大磯町と東

海大学病院との関係は良好

で十分なコミュニケーション

は出来ているのか。

町民の生命を守るために

は町長がもっと先頭に立つ

て取り組んでほしい。

スポーツ健康課長

事務レベルでは打ち合わせはしている。

柴崎 茂

7月24日の議長・副議長選挙

で何か教訓はあるか

答 町との調整役として期待

問

あなたが選任されたのが、

平成18年12月。平成19年6

月に町会議員の選挙があつ

たので、その時を1回目と

すると今回は町長としては

2回目の議長選挙を見たとい

うことになる。

前回と今回とで何か違い

はおわかりになりましたか。

町長

私の立場から見ると、特に

感じない。

本会議場で選挙をする前

に全員協議会を開いた時に、

三澤議員から抱負を述べて

も述べなくても良しとし、

質問はやめようと。そのほ

うが格好良いからというこ

とでそうした。

議長選は山田さんが出て

述べられた。結果、私たち

の仲間の6人は渡辺順子さ

んに投票して7対6という

ことになった。

副議長選では山口さんが

述べられた。山口さんは平

成19年7月に議長選に立候補

されて、その際「けさ立

候補を決意した。それまで

いろんな情報があつて、私

と共同歩調をとっていた議

員がどうも負け戦になりそ

うだということ、急遽降

りることになった。冗談じ

やない。公共工事に対して

談合を厳しく禁じているの

に、言っている議会がまさに

に談合して議長を決めてい

る。能力でなく年功序列・

お互いに推選するから私に

副議長をくださいと。旧態

依然だ」と言つて、会議録

に残っている。結果7対6

で山口さんが副議長になつ

た。立候補し、質問も受け

ずになる。談合と言わずし

て、何と言うんですか。

町長

質問が大変難しくて…。



図書館風景

鈴木 京子

図書館の窓口業務委託で 住民サービス向上になるか

答 良質なサービスにしたい

問1

正規職員が減る中で、10月から窓口業務等が委託される。

これからの図書館はどうなるのかと心配する声があるので、協議会、ボランティア、指定管理者の検討会の方、学校図書館、NPO法人などに声をかけ、これからの図書館のあり方を協議する場を設けてほしいが。

教育長

特に図書館協議会に知恵を借り、よりよい運営をしていきたい。

問2

マリア道の新設拡幅は不要不急と考えるが、用地取得の内容は。

建設課長

当初予算を含め、新設部分は32筆9地権者2千800平米で、単価は鑑定をもとにしている。

渡辺 順子

体育館や文化施設の充実を 望む声にどう応えていくか

答 近隣市町と連携を推進する

問

わが町は、体育館や文化施設がないため、町民は他市町の施設を利用している。ところが近隣市町が施設

利用料や予約受付順序を変えたので大磯町民は従来

のように施設を借りることが困難になった。施設の充実を望む声が強くなっていくが、町はどう応えていくのか。

町長

文化の町でありながら文化ホールも体育館もないという状況だが、近隣市町との連携を推進し、施設の相互利用ができるよう協議して町民ニーズに対応する。

政策課長

早め実践するよう動く。公民館もない状況だが。

生涯学習課長

公民館で行われる事業は出来ないが、将来的には拠点が必要だと考えている。

災害時要援護者 個別対策は

問

問

災害時の要援護者には特性にあった情報伝達が必要である。支援環境は十分整っているか。今後、町が立てる個別計画で日常生活も不自由ないようにするか。

また個別計画での個人情報管理は出来るか。命にかかわることだ。総力挙げて取り組むべきだ。

総務課長

関係部局と調整を図り、必要なら予算計上して支援環境を整える。

個人情報については保護制度を活かした要援護者の仕組みをつくるのが我々の役目だと思っている。

その他の質問

海岸の禁煙について。

百瀬 恵美子

町の普通救命講習会の 拡大を問う

答 実施する計画を進める

問1

突然のけがや病気におそわれるかわからない、その時人の命を救うため、その場に居合わせた人が協力し、速やかに正しく処置することで助かる命がある。救命講習会の拡大計画を問う。

町長

総合計画でH27年の目標4千人とある。今後小・中・高校生や関係団体の実施計画。

問2

高齢者・障害者世帯を対象に、ごみ

個別収集を計画し実行を問う。

町長

個別収集の方法・対象者等の検討、モデル地区を指定し施行する。来年度から安否確認を含め実施する。



CPR&AEDトレーニングキット

議会スナック



▲8月22日
島崎藤村忌



▲10月4日
OISOチャレンジフェスティバル



▲10月6日
可燃ごみ収集事業者決定に関する調査特別委員会



▲10月12日
防災訓練

12月定例会

- 11月30日 議案上程等
- 12月 8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 11日 委員長報告等
- ※ SCNにて放映されます。



当日、4階議会事務局で受け付け後、傍聴できます。

明日の大磯が
見えてくる
皆さんで
議会傍聴を

※表紙の題字『大磯』は大磯中学校の正門にある吉田茂氏筆の門標より

副議長	長	坂山	竹田	奥内	津勝	委員	員	百瀬	三澤	鈴木	委員	長	三澤	龍夫
副議長	山口	喜一	陽一	よう子	恵美子	委員	員	百瀬	三澤	鈴木	委員	長	三澤	龍夫

議会だより編集委員

議会選出の監査委員をめぐると、限られた紙面で十分伝えられたでしょうか。皆さまのご意見を、ぜひお寄せください。お待ちしております。

【編集後記】
朝夕めっきり寒くなりました。4年の任期の折り返しになる9月議会は新正副議長の下で波乱のスタートとなりました。

明日の大磯が
見えてくる
皆さんで
議会傍聴を